

やまがた 議会だより

令和元年10月

No. 130

- ・令和元年 第3回定例会 2ページ
 《限られた財源の中での決算は…》
- ・平成30年度 決算報告 3ページ
- ・一般質問の要約 4ページ～7ページ
- ・常任委員会活動だより 7ページ
- ・「私の一言」 8ページ
- ・休日議会のお知らせ 8ページ



9月22日(日) 山形小学校
秋空のもと たのしい運動会が開催された

赤組ガンバシ!! 白組ガンバシ!!
連帯・協力・調和・団結力 みんなで頑張った

今年も 猛暑に 見舞われた 夏

小学校・保育園の
対応は扇風機
クーラーなど



令和元年

第3回議会定例会

第3回定例会を9月3日に開会し、9月17日まで15日間開催した。

認定7件、議案18件、請願・陳情3件を審議のうえ可決した。

一般質問は9日5日に9人が登壇し、村政全般について14件質問を行なった。

認定 一般会計ほか審議の上認定

- 平成30年度山形村一般会計歳入歳出決算認定について
- 平成30年度山形村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成30年度山形村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成30年度山形村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成30年度山形村清水高原簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成30年度山形村水道事業会計歳入歳出決算認定について
- 平成30年度山形村下水道事業会計歳入歳出決算認定について

議案

- 平成30年度山形村水道事業会計剰余金処分について
- 山形村印鑑の登録及び証明に関する条例
- 山形村教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例
- 山形村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
- 山形村水道事業給水条例
- 山形村清水高原簡易水道条例
- 山形村農産加工施設の設置及び管理に関する条例
- 山形村保健福祉センター施設の設置及び管理に関する条例
- 小学校施設使用料徴収条例
- 農業者トレーニングセンター施設条例
- 山形村ミラ・フード館施設の設置及び管理に関する条例
- 山形村ふれあいドーム施設の設置及び管理に関する条例
- 清水高原文化交流施設の設置及び管理に関する条例
- 12件は、条例の一部を改正する条例について
- 令和元年度山形村一般会計補正予算
- 令和元年度山形村国民健康保険特別会計補正予算
- 令和元年度山形村介護保険特別会計補正予算
- 令和元年度山形村水道事業会計補正予算
- 令和元年度山形村下水道事業会計補正予算

選挙管理委員会委員選挙

指名推薦

- 選挙管理委員会委員
- 平林美江子氏(上大池)、上條善清氏(中大池)
- 青沼永廣氏(上竹田)、鈴木まゆみ氏(下竹田)
- 選挙管理委員会委員補充員
- 吉越良子氏(下大池)、古本よし子氏(上竹田)
- 大池高年氏(小坂)、佐塚俊弘氏(下竹田)

報告

○平成30年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

主な事業等補正予算

総務費

○清水高原施設工事

スカイランドきよみず空調施設 2千85万円

民生費

○幼児教育無償化システム改修委託料 282万円

衛生費

○高齢者保健費 長野県後期高齢者医療広域連合会運営費負担金 613万円

農林水産業費

○農地費 ため池ハザードマップ作成業務委託料 250万円

○林業振興費 松くい虫被害対策緊急伐倒処理工事 149万円

請願・陳情

○国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書

○「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書

○私立高校に対する公費助成をお願いする意見書

それぞれ、意見書を国・県に提出するものとした。



限られた財源の中での安定感のある決算 一歩進めた執行を求める

平成30年度一般会計決算 **歳出33億3,786万円に
1億9,307万円の黒字決算**

【歳出】

| | |
|---------------|-------|
| 民生費 | |
| 10億7,342万円 | 32.2% |
| 土木費 | |
| 3億7,705万円 | 11.3% |
| 衛生費 | |
| 2億8,726万円 | 8.6% |
| 消防費 | |
| 1億3,286万円 | 4.0% |
| 教育費 | |
| 2億8,248万円 | 8.5% |
| 農林水産業費 | |
| 1億7,407万円 | 5.2% |
| 商工費 | |
| 5,481万円 | 1.6% |
| 公債費 | |
| 2億9,182万円 | 8.7% |
| 総務費 | |
| 5億9,003万円 | 17.7% |
| その他 | |
| 7,406万円 | 2.2% |

【歳入】

| | |
|---------------|-------|
| 村税 | |
| 10億2,215万円 | 28.9% |
| 地方交付金 | |
| 12億5,292万円 | 35.5% |
| 国・県支出金 | |
| 4億8,025万円 | 13.6% |
| 村債 | |
| 1億8,059万円 | 5.1% |
| その他 | |
| 5億9,503万円 | 16.9% |

| | |
|----------------|--------------|
| 国民健康保険特別会計歳出 | 9億6,789万円 |
| 後期高齢者医療特別会計歳出 | 7,689万円 |
| 介護保険特別会計歳出 | 6億7,870万円 |
| 清水高原簡易水道特別会計歳出 | 1,281万円 |
| 上水道事業会計 | 給水戸数 3,132戸 |
| 水道料金 | 1億8,685万円 |
| 下水道事業会計 | 水洗化人口 8,646人 |
| 下水道使用料 | 1億6,145万円 |

【平成30年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率】

- 健全化判断比率 実質公債費比率 6.0% (昨年4.9%) 1.1%の上昇であるが、基準 (25%) 内
- 資金不足比率 資金不足なし

令和元年9月現在 【工事の発注状況】

- 総務課 ・役場庁舎自動火災報知設備受信機更新 130万円
- 建設水道課 ・唐沢配水池不断水清掃 130万円 ・小坂下北沖上水道配水管布設 994万円
- ・唐沢浄水場濾材入替 1,944万円 ・横出ヶ崎配水池屋根塗装補修 550万円
- ・上竹田下本郷上水道配水管布設替 2,420万円
- ・上竹田四ツ谷上消火栓取替設置 118万円
- ・山形村浄化センターNo.3主ポンプ修繕 108万円
- 保育園 ・山形保育園空調施設設置 (エアコン設置工事一式) 950万円
- 教育政策課 ・トレーニングセンター地下タンク内面ライニングほか 130万円

議員9人が

村政を問う

一般質問

9月定例会の一般質問は、5日に9人が14件を行ないました。質問議員が要約したものを掲載します。

一般質問とは

一般質問は、村が行なうすべての事務や事業に関して、何でも質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会のみ、臨時会ではできません。

● 質問時間は60分

山形村では、議員が質問できる時間は答弁を含めて、一人60分以内です。

● 一問一答方式

質問は、一つ質問して一つの回答を得る一問一答方式です。より問題を深められる方法とされています。

● 事前通告

質問する議員には、前もって質問内容を記した、事前通告書の提出を義務付けています。

「村の防災対策は万全か」避難所のエアコンの設置は

村長 近年の気温上昇や気象状況を考えると、

エアコンが必要な時期もあると思う

Q 雨量監視システム・土砂監視システムの導入は。

A 雨量監視システム・土砂監視システムがあれば、日頃の防災業務に利用できると思う。

監視システムの情報と気象庁等から発表される気象情報を踏まえて、住民の避難誘導や

自主避難の判断材料として活用できる仕組みを構築できるか考えていく必要がある。今後、研究していきたい。



公共施設等の「個別施設計画」策定に向けて

大月民夫議員

村長 持続可能な山形村のあるべき姿を検討願う

Q 公共建築物のあり方検討委員会への諮問内容は。

A 建築物の利用動向を見極めながら、各施設の存続・廃止・統廃合・建替え等望ましい方向性の検討を願う。

Q 答申時期は。

A 検討対象施設が多いことから特に定めたいはないが、本年12月頃までを希望している。

Q 検討委員の分野別構成内容は。

A 委嘱した検討委員は、各種建築物の運営委員会の代表委員6名と識見を有する者4名の計10名で構成。

なお、検討内容によっては専門知識の助言も取り入れていく。

Q 余儀なく、喫緊対応がせまられている、「ふるさと伝承館」の取り組み方針は。

A 近年大きな自然災害が頻発している中で、一日でも早く対応する必要があるが、手戻りとなるような拙速な判断をしないよう慎重に審議を重ね、今後の方向付けをしていきたい。



小学校1・2学年 少人数数学級の評価は

春日 仁議員

教育長 学級担任の指導が一人一人に行き届

くようになり、笑顔あふれる学級づくりや学習の定着などに成果が見られた

Q 3学年も少人数学級にして、検証してみているか。

A 当面は、県基準の学級編成で進めていきたいと考えている。

なお、児童の様子や学校運営の状況を見る中で、必要があると考えられる場合は、3学年での学級編成の在り方について、研究をしていきたいと考えている。



身障者用トイレの整備予定は

竹野入恒夫議員

村長 必要性を検証・設置場所や改修内容の研究をする

Q 役場東側の公衆トイレには、身障者用のトイレが設置されていない。世の中の動きの中では、早急に整備しないとイケないが、どのような予定になっているのか。

A 役場東側の公衆トイレについては、必要性を検討するとともに、設置場所や改築内容について、研究していく。

Q 役場東側の公衆トイレの壁に、山形村の観光内容と水色山路、山形村ウォッチングの2枚の看板がある。ウォッチングの看板の「水色山路」とは何ですかという話になるが、何かアイデアを出して変える必要はないか。

A 役場東側の公衆トイレの壁の案内板について、今後、内容の更新を含めて研究していく。

その他、「薪割り機・ウッドチップパー(剪定木粉碎機)」について質問した。



役場東側の公衆トイレ



人口増加への取り組みは

百瀬 章議員

村長 民間の宅地造成やアパートの建設動向を注視し、移住促進をはかる

Q 社会増のため、移住を検討する人への紹介方法や具体的な施策は。

A 地域おこし協力隊と協力し、移住を検討している人向けのパンフレットを昨年1月に作成して、随時更新している。また、村での生活をイメージしてもらうため、子育て施設、商業施設等を紹介するツアーを企画し、この7月から募集している。



幼児教育保育料の無償化に 合わせて副食費も無償化に

大池俊子議員

村長 子育て支援策として、副食費に関する

価格・減免など検討する予定

Q 山形保育園・やまの子保育園ともに、2歳児は保育料を負担することになっている。給食費も含めれば負担増となるが、実態はどうか。

A 現行どおり、保育料に主食・副食費を含んだ利用負担額になるので、負担増にはならない。

村独自で行っている軽減策については、継続して取り組む予定。

Q 人口の自然増のための結婚支援は。

A 村独自の取り組みは行っていない。村に相談があった場合は、ながの結婚マッチングセンターを紹介している。相談件数は、昨年はなく、今年は今のところ1件である。

その他、「投票率の低下傾向について、村長の考え及び選挙管理委員会の対応を」について質問した。



Q 松川村などは、保育園の副食費を10月から無償化としている。

A 「給食は保育の一環」であると思うが、村の考えは。

A 国の施策では、収入が36万円未満相当料が無償となる。山形村の副食費は、一人当たり月4千500円を徴収する予定。村独自の子育て支援策として、副食費に関する価格・減免など検討する予定。

Q 収入が36万円以上の世帯は、徴収する予定。

その他、「山形村の生活困窮者の実態は」について質問した。



松くい虫対策は

上條倫司議員

村長 被害拡大防止のため、薬剤散布も検討へ

Q 松枯れは、マツノマダラカミキリが媒介するマツノザイセンチュウによるものだが、燻蒸処理はできているか。

A 松が立ち枯れをしてしまう原因として、大きいものは指摘の通りだが、乾燥による立ち枯れもあると聞いている。鑑定をして、マツノザイセンチュウが確認されれば、燻蒸処理により対応する。



保険者協力支援制度と
保険者機能強化交付金の
現状と取り組みは

小出敏裕議員

村長 今後、保険者協力支援制度と保険者機能強化交付金の検討を図りたい

Q 特定健康診査受診率と特定保健指導実施率の年度別推移は。

A 特定健康診査受診率は、平成27年36.2%、平成28年36.6%、平成29年38.7%とほぼ横ばい。特定保健指導実施率は、平成27年40.6%、平成28年29.1%、平成29年60.4%となっている。

Q 特定健康診査受診率が低い理由は。

A かかりつけの医師から本人同意のもと、血液検査等のデータ提供を受けていない

Q 薬剤散布は、いつから行なうのか。

A 薬剤散布は、現在計画はない。ただし、最近の松枯れの状況をみて、検討を進めるようにした。近隣の市村でも同じ課題に苦慮している。各市村とも調整しながら対応することも必要になる。

Q 薬剤散布の方法は。

A 一般的には、有人へりによる空中散布、地上からの散布などになる。それぞれ長所短所があり、法律上の規制もある。市村で策定する予防計画の中で定められた、現地にあった散布方法を選択していく。

Q ことが一因と考え、今年度より受診勧奨を行ない、未受診者対策に力を入れている。

Q 山形村特定検診等実施計画の内容を、村民にはどのように周知したか。

A 村のホームページに掲載して公表し、周知を図っている。

Q 計画の中に本人の同意のもと、検査データの提供を受けるとあるが、村民に同意を求めたことはあるか。

A 今までは、同意を求めた村民はいない。まずは、村内の医療機関と十分に打ち合わせをして、実施につなげたい。

その他、「障がい者の雇用」について質問した。



山形村公共施設等総合管理計画
個別施設計画の策定は

百瀬昇一議員

村長 今年4月から取り組み、7月に策定した

Q 公共建築物のあり方検討委員会が立ち上がったが、検討の進め方は。

A 過去・現在・未来の人口動態・財政状態・施設の利用状況や、他の市町村の状況など様々な観点から検証し、公共施設現況調査は、「計画的に保全する施設」「改築用途の見直し等を検討したほうがよい施設」「廃止を検討したほうがよい施設」の3つに分類した。これらの方向付けを提示してある。

Q 公共施設整備基金の今後の方向は。

A 令和元年7月30日現在の公共施設整備基金は、9億4千319万円1千円となっている。

基金条例では、庁舎、学校、スポーツ施設等の公共建築物および道路、橋りょうの生活基盤資産に充てるとしている。

施設の改修や更新内容に応じた補助金・起債の使用をその都度検討し、できる限り財源を基金のみに頼ることのないよう、努めている。





災害時における 避難場所の安全対策と 地域防災計画の 見直しと更新は

小林幸司 議員

村長 ハザードマップの更新時期は、年内の更新をめざしている

Q 避難場所としている施設が特別警戒区域や警戒区域に入っているが、今後の対応は。

A 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）に入っているのは、上大池コミュニティセンターと小坂公民館であり、被災状況により使用できない場合は、中大池語り部の館や下大池公民館へ避難してもらい、飽和状態になれば農業者トレーニングセンター等に避難誘導を行なう。

Q 防災計画の見直しの進捗状況は。

A ハザードマップ同様に、県で進めている土砂災害警戒区域の指定の遅れが生じており、年内の更新を目指しているが、時期については未定である。

Q ハザードマップ作成に間に合うのであれば、村内のため池などの情報も掲載できるのか。

A 現在調査中であるので、間に合えば掲載していきたい。

その他、「総合防災訓練」について質問した。

総務産業

議会常任委員会 活動だより

福祉文教

行政視察 7月18日(木)

塩尻市北部交流センター

「えんてらす」ほか

*新たなコミュニティを形成する施設

現地視察 8月21日(水)

小坂区の土砂災害特別警戒区域と下大池区の松くい虫対策の現地確認



小坂 ニノ沢口

現地訪問 7月3日(水)

山形小学校（校長先生と懇談会）

同日 鉢盛中学校議会

第1回臨時会

8月28日(水)

児童館（館長と懇談会）



児童館の建物

ふるさとの流れよ 美しく ずくだして 川をきれいに大作戦

海洋プラスチックによる海の汚染が問題になるなか、
河川の現状を、環境やゴミ問題を考える活動



8月25日(日)

唐沢川・三間沢川などの

清掃をボランティア、

役場職員とともに

実施した

マルチや肥料袋などの
プラスチックゴミが多かった
また、金属ゴミも目立った

私の一言



こばやし
小林かをる

(中大池)

希望ある未来を

山形村育ちの私が、結婚を機に村を離れ、家族と共に村に戻ってから23年がたちました。

この自然豊かな山形村で子育てできたことは、とても嬉しく思っています。

子供の手が離れはじめた今、障がい児者の生活支援、就労支援の仕事に携わらせていただいております。

一人一人の個性と向き合いながら、将来に向けての貴重な時間を共に過ごすことには、大きな責任を感じます。

共に笑い、学びながら、大切な時間を共有できればと思っています。

近い将来、それぞれの地域に旅立っていくであろう一人一人が、希望をもって生活できる、そんな村であって欲しいと願っています。



もりいとしお
森井稔雄

(下大池)

リサイクルを考える

「リサイクル」、何を思い浮かべますか？

私が意識し使用しているリサイクル品は、食品廃棄物からつくられた堆肥です。食品会社や飲食店などから破棄される物からできています。

破棄されるものをリサイクルし、新しい商品が出来上がっても、それを使用する人がいなければリサイクルは成り立ちません。

私はこれからも、一つの選択肢としてリサイクル品を選んでいきたいと思っています。

最後に、可燃物として出されている生ゴミが、リサイクルの材料として、集められる日が来ることを期待したいと思います。



第4回議会定例会日程のお知らせ

12月6日(金) 本会議 議案提案説明 質疑 委員会付託

12月8日(日) 一般質問

各議員が通告書を提出し、村政全般について質問します。

12月10日(火) 総務産業常任委員会

12月11日(水) 福祉文教常任委員会

12月12日(木) 常任委員会 予備日

12月13日(金) 本会議 委員長報告 質疑 討論 採決

日程は変更になる場合があります。

なお、12/8は確定となっています。

予告

12月8日(日) 確定

皆さんの傍聴をお待ちしています

休日議会へのお願い

多様な民意を吸収し、それを集約し、自治体の意思決定を行なう議会の役割はますます重要となっております。

開かれた議会を目指して、スタートした休日議会(一般質問)は4年目になります。

当日のスケジュール並びに質問項目(要旨)を、事前に各家庭にご案内いたします。

役場議場での論議の傍聴に、万障繰り合わせの上、お出かけください。

議会運営委員長 大月 民夫

発行責任者

議長 三澤 一男

議会広報編集特別委員会

委員長 百瀬 昇一

副委員長 小出 敏裕

委員 大池 俊子

委員 竹野入恒夫

委員 百瀬 章

委員 三澤 一男